

平成29年度 地域発 元気づくり支援金事業総括書

事業名	リノベーション高遠まちづくり塾の開催
事業主体 (連絡先)	高遠コンサベーションプロジェクト 電話番号：0265-94-1202 e-mail：ito@ceis.or.jp
事業区分	(1) 地域協働の推進に関する事業
事業タイプ	ソフト
総事業費	1,084,504 円 (うち支援金：866,000 円)

事業内容

まちづくり塾及びフォーラムの開催

平成29年7月から全6回の塾を開催し、各地の実践事例、高遠の資源、まちづくりの進め方、協働のまちづくり等について、講師から話題提供をいただき、意見交換を行った。

その後、全6回の塾の集大成として、平成30年2月にフォーラムを開催した。フォーラムでは、塾での学びを踏まえて11名のプレゼンターが高遠地区活性化へ向けた活動案を提案した。



(活動写真)

【まちづくり塾】

【目標・ねらい】

- ①まちづくり人材の育成
- ②まちづくり意識の喚起
- ③リノベーションまちづくりへの関心の向上

事業効果

※地域活性化のための目標・ねらいに対してどのような効果があったか、項目毎に記載すること。

・塾受講者は、高遠地区の住民のみならず、広域的な地域から参加を得ることができ、高遠の地域づくりの担い手のすそ野を広げることができた。参加者数のうち長野県外からの参加者数が18.0%あり、高遠のまちづくりを考える機会を提供することで、単なる交流にとどまらない関係人口の獲得につながった。

- ・具体的なまちづくり活動案を提案することができた。
- ・本塾開催によって、空き家オーナーと意見交換することができ、今後の活用の可能性を拓くことができた。

※自己評価【B】

【理由】

当初の目標は達成できたが、まちづくり人材の育成に向けては、継続的な取組が必要であるため

今後の取り組み

※今後、事業効果をどうつなげていくか記載すること。

- ・関係人口の獲得及び活動提案を踏まえて、高遠の魅力を生かしたコトづくりを行う。
- ・まちづくり活動提案について、広報、人のマッチング、地域のマッチング等の支援を行う。
- ・空き家オーナーとの意見交換及び調整を引き続き行う。

※ 自己評価欄は、地域活性化に及ぼす事業効果について、以下から選択のこと。

「A」：予定を上回る効果が得られた 「B」：予定していた効果が得られた

「C」：一定の事業効果はあったが事業実施方法や今後の活用等について、工夫や改善を要する点がある

(別記様式第12号) (第3の8関係)